

協農の再出發

理事選挙は5月1日



発行所 長野県飯田市公民館
 編集人 竜丘公民館編集部
 印刷所 信州印刷KK
 松本市市上町353



【問題のあった総会】

四月廿七日日竜丘農協の折、農協役員に対する組合員...
 △三月二十六日竜丘農協総会の折、農協役員に対する組合員...
 △の批判の声からついに組合長、常務の両氏は執行役員を辞...
 △退し、それに伴って新役員が決まり、再度塚平氏が...
 △組合長に就任、専務に下平広志氏が決まり、もみ続けた農...
 △協問題も新しい感覚によって運営が開始されたかの感があ...
 △...だが、組合員の世論は納得出来ない組合長問題として高...
 △...まり、四月二十日理事総員が辞職し、ついに五月一日新役...
 △...員の選出に持ち込まれた。公民館編集部では社会教育の立...
 △...場から、ここに真相を発表し、地区民の公正な批判を仰ぐ...
 △...と同時に今後の問題を共に考えて行きたい。

理事辞任の真相

第十四回通常総会は三月二十六日のもとに開かれ、議長に林省三氏農協本所において三九六名の出席が選ばれ、第一号議案から第十二号議案まで無修正で可決されたが一般質問において、有線放送の主体性の問題(農協のものであるか否かということ)農協組合長の運営上に対する意見が出され一応終了した翌二十七日塚平組合長と塩沢常務は、

論説

「四月廿日竜丘農協役員総辞職」と云う農協始まって以来の大問題を起した。形の上からは農協総会で執行部に対しての一般組合員の強い批判がついに爆発したかの感があるが、問題はそれ以前に種々な形で表れていた事は事実である。

それは竜丘地区の経済をになう農協の経理面に大きな穴をあけたとか事業に失敗したとかの問題と異なっていて、もとを正せば、執行部の運営の方法に問題がある様だ。組合長ワンマンと言う声の集録が今回の問題に発展したのであろう。それだけに、この問題のなり行きに不明朗な点があり組合員はいろいろ総会における批判、その他組合員の批判に対して執行役員を辞退した。

二十八日緊急理事会が開かれ、当面する組合長問題について協議した結果、組合長に辞表撤回を要望したが賛意を得ることが出来ず再三の反省の中で、ついに受理した。これと同時に理事総辞職の討議がされたが、結局賛成五、反対十一で新執行役員選出にもち込まれ組合長に下平広志氏、専務に下平重人氏をおし、新組織確立のために四月四日まで両氏に依頼をしたが、それに至らず、理事会は幾多の話し合いによって猛反省がされ、フリダシに戻すことを決めた。一応健全財政といわれる組合運

「四月廿日竜丘農協役員総辞職」と云う農協始まって以来の大問題を起した。形の上からは農協総会で執行部に対しての一般組合員の強い批判がついに爆発したかの感があるが、問題はそれ以前に種々な形で表れていた事は事実である。

それは竜丘地区の経済をになう農協の経理面に大きな穴をあけたとか事業に失敗したとかの問題と異なっていて、もとを正せば、執行部の運営の方法に問題がある様だ。組合長ワンマンと言う声の集録が今回の問題に発展したのであろう。それだけに、この問題のなり行きに不明朗な点があり組合員はいろいろ総会における批判、その他組合員の批判に対して執行役員を辞退した。

二十八日緊急理事会が開かれ、当面する組合長問題について協議した結果、組合長に辞表撤回を要望したが賛意を得ることが出来ず再三の反省の中で、ついに受理した。これと同時に理事総辞職の討議がされたが、結局賛成五、反対十一で新執行役員選出にもち込まれ組合長に下平広志氏、専務に下平重人氏をおし、新組織確立のために四月四日まで両氏に依頼をしたが、それに至らず、理事会は幾多の話し合いによって猛反省がされ、フリダシに戻すことを決めた。一応健全財政といわれる組合運

考えたい農協問題

四月廿日竜丘農協役員総辞職... 世論に忠実であるとも経済団体の組合であることを意識した場合、経済面にマイナスになる様な言動は厳に、しむべきだ。例え少しばかりの感情の昂ぶりが自分自身の農協に汚点をのこす結果ともなる事を認識しなければならぬ。

理事総辞職といふことは竜丘農協においては未聞のことであり、こうした事態において組合員が真剣に農協の在り方を再認識したとするならば、「刷新的な空気を入れる」という解散理由も生きて来るであろうし、五月一日に行われる選挙の心がまえも出来て来るものと思われる。今こそ大局的な見地に立って暖い目で農協を再建して行く時期が来ているのだ。

元々感情問題が発展した今回の事態だけに、今後における農協の運営は、決して楽観出来るものではない。ことに経済団体である農協という観点にたっても、地区内のみの問題でなく、対外的な面についても考えなければならぬことは当然であり、その意味において

明等が積み重なって来た中で、二十日の理事会において理事全員が新進な組合組織を打ち立てる以外に道はないという理由で辞任し二十一日監事会で認められた。急処事務局では二十三日実行組合長会を開き、臨時総会を五月一日に行い、理事十六名と監事一名の補欠選挙を行い、新役員によってこの運営がなされることになった。実行組合長会の結果では、従前通り部落推選制をとることになり、現在各部落とも推選態勢が活発になっている。

組合のことを組合員はどう云っているか。幾人かの人に聞いてみることにした。

増田好雄氏談 今度の理事の辞

増田好雄氏談

今度の理事の辞... 幾人かの人に聞いてみることにした。

増田好雄氏談 今度の理事の辞

岡村市郎氏談

組合長に対する批判も種々と聞いていたが、今度辞職ということになった。時々人が変わってやるのも良いことだと思ふ。しかし辞職についての理由がはっきりしないから解せない点もある。

特凍霜害対策報

五月十一日は
母の日です
お母さんありがとう

ある。大体果樹に於いて、収量はあまり影響はないが不正果が多いのではないかと予想される。これらの被害に対しての対策としては、

麦では、紋枯、赤銹病等の原因になるから出来れば集団共同にて極力硫酸合剤五〇倍液を反当六斗以上撒布する。

果樹に於いては、各種類とも銹果不正果等の除去、人工授粉の徹底摘花は被害程度に応じて加減し、摘果は、結実後速やかに行う様望みたい。摘果要領はリンゴ、中心果又は側果で果梗の長いもの。梨、第三番果―五番果で正形果梗の長いもの。

桃、枝に依つて異なるが長果枝で四ケ以下にする。

又樹勢強化のために、除芽、摘芯等を行う。また肥料として尿素の菜面散布と速効性のものを時期を待って実施する。病虫害に対しては適期に適応なる薬剤散布を行



(被害の大きなビール麦)

被害の大きい麦類

被害の主なものは麦類、特にビール麦に多く大体七割位で、農林六十八号が五割、裸麦が六―七割と見られている(収穫にあたってはもっと多く予想されている)程度の被害を受けて皆無に等しいところもあり胸もとをえぐられる患いで牛の飼料として青刈にしている風景もみられる。

果樹については

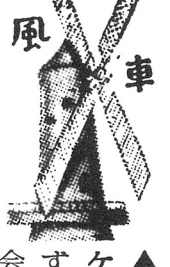
麦類程その被害は受けていないが梅、柿では七―八割で多く大体早生、中生のものに被害が見られる桃では白桃が五割、大久保、水密が三割と見られている。

リンゴでは、旭、紅玉、コールド

四月二十六日に飯田測候所で発表した予報によると、五月上旬にはぐすついた天候も回復して晴間も多くなり、気温も上昇し中旬以降は平年並、雨量は上旬以降は比較的少ない。注目の晩霜についてはそのおそれは比較的少ない。

これでわかるように晩霜のおそれは薄いが未だ安心は出来ない。未然に少しでも被害を少なくするように万全の措置を講じると共に気象について各種の報道機関より流れる予報に十分なる注意をし、万全なる対策のうちに作物の生長が見られるように切にお願い致します。

X X X



風車

改選一ケ年たらずで理事會が解散となった。組合員は昨年自信をもって各理事を選出したのではなかったのか? 理事を解散に追込んだのは組合員であり、昨年の選出は一寸まずかったからやりなおすのだ、と云う事になったわけだ。

▲果して理事が何故辞職せなければならぬ理由があったか? 一応理事者全員が辞職する位なら何故辞職理由をかりに臨時総会位は開

▲改選一ケ年たらずで理事會が解散となった。組合員は昨年自信をもって各理事を選出したのではなかったのか? 理事を解散に追込んだのは組合員であり、昨年の選出は一寸まずかったからやりなおすのだ、と云う事になったわけだ。

▲果して理事が何故辞職せなければならぬ理由があったか? 一応理事者全員が辞職する位なら何故辞職理由をかりに臨時総会位は開

いて一般組合員に計らなかつたか

▲農協についてはいろいろと前から疑問の点があつた様だ。果して組合員が農協というものをどの程度研究しているだろうか? 今度の理事の辞職についても寝耳に水と大いに驚いた様だ。何故もつと自分達の組合に対して人まかせでなしに研究しなかつたのだと疑問が湧く。

▲辞職すれば後釜の選挙となる。選挙の日も五月一日と決まっています。辞職の理由も充分に解らずに果して立派な後任を選ぶ事が出来るであろうか。問題はいろいろとある。

▲組合員が充分なる自信を持って選び、選ばれた役員も自信を持って組合運営に専念出来る様な形を打ち立てるために、ともどもに農協を育てて行きたいものだ。出しとして、そしてかきすす様な事のないためにも今度の選挙はしん重を期したい。

後記 四月号は飯田市統一版の都合により、二つの特集としました。

☆……農作物、果樹関係の凍霜害総額は、飯田地方だけでも三……☆
 ☆…月(四月)にかけて二億円を突破し被害甚大である。四月中……☆
 ☆…旬だけの凍霜害額(飯田市)だけでも六千七百万円という……☆
 ☆…このうち果樹類が三千五百万円で生産高の二五%、麦千……☆
 ☆…六百万円で四六%、その他四百四十万で柿は全滅状態だと……☆
 ☆…いう。まだ晩霜のおそれは解消出来ないから今後の予報に……☆
 ☆…充分注意されたい。……☆
 ☆…尚、特報については、竜丘対策委員会よりの資料に基づ……☆
 ☆…いて作成したものである。……☆

凍霜害については毎年三月末か一晩場、地方事務所、測候所で組織から五月上旬に亘って頭を悩ます問題である。本年も当初考へて居たより被害度は強い様である。

竜丘地区でもこの凍霜害に対し四月二三日に園芸振興委員会と農協を中心にして凍霜害対策委員会支部が生れた。本部は飯田市凍霜害対策委員会として、農委、試

支部委員会は農協の技術員を中心にして主に有線放送を利用して予防対策につとめている。

主な仕事は、夜十一時―三十分迄の間に本部から当夜の予報を受けとる。地区内に果樹園芸同志会の協力で十四ヶ所に測点をもつて

九日にマイナス八度、四月十日に二・五度、四月十九日に三度(いずれもマイナス)この他にも注意予報がでたが夜半より雲等がでて幸にも被害のでなかつた日も三日ばかりある。

この様に対策委と耕作者の充分なる対策にもかかわらず再三の寒波の襲来に依つて被害が各作物に多大にあらわれてしまった。

凍霜を生じた主な日は三月二十

村史の窓

後醍醐天皇の七番目の王女に殿子という方があつた。

母は信州藤沢の城主一郎秀親の娘であり、

正和二年(六百四十五年)嵯峨に生れた。長

山神の由来

せだ。そして暦応二年に髪を落して開善寺に入り、宝樹院淨元大姉と称され父君の眞福を祈られ心水 年一月十五日八十才

で世を去られた。里人は琴原の丘に御魂を祀り、跛山神と唱える様になつた。これは王女が信濃へ下向の際、長途と悪路の旅でついに跛となられ、後々の人達を跛の難きから救おうと念願されていた為と伝えられている。